

てしお

議会だより

No.156

平成29年2月8日発行

北海道
天塩町議会



認定こども園おひさまのカルタ大会

一般質問 6名議員が町政を問う

- 商工観光課と観光協会のあり方は・・・3
- 待機児童の解消を・・・4
- 天塩港に監視カメラの設置を・・・5
- JＲの存廃と通院の足の確保はほか・・・6
- 火葬場について住民への説明をほか・・・7
- 農地防災事業後の草地更新支援を・・・8

第4回定例会

- 病院事業への操出金などで補正・・・2
- 地方創生関連事業などで行政報告ほか・・・9
- 表紙の写真/
住民参加企画「まちのこえ」・・・10

天塩町議会 |

検索

「議会のうごき」をHPに掲載しています
<http://www.teshiotown.hokkaido.jp>

12月 第4回定例会

12月14～15日

平成28年12月定例会は、12月14に開会し、会期を15日までの2日間と決め、6議員が一般質問を行い、子育て支援、交通体系などについて活発な議論が交わされました。

また、28年度一般会計、特別会計の補正予算案や条例案などの議案を審議し、原案通り可決しました。



▲起立採決の様子

病院事業特別会計への繰出金で

1億4580万円追加

28年度補正予算

●一般会計

歳入歳出の補正予算は2億761万円を追加し、総額を46億2157万円としました。

に議会議員の期末手当を0.1ヶ月引き上げることを内容とする「議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例」の一部改正案に対し、討論が行われました。

(起立採決の結果、可否同数のため、議長採決により、原案可決)

賛成者

後藤、草刈、石山、佐々木

反対者

渡辺、遠藤、横山、谷村

その他

・「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」「大雨災害に関する意見書」「JR北海道への経営支援を求める意見書」の3件の意見書を国に提出。

条例

(主なもの)

議員報酬をめぐり討論

国の人事院勧告に伴い、本町においても同様に特別職、一般職とも

賛成討論

横山 少子高齢化社会の中財政状態は厳しく、徹底した行財政改革が求められている。議員自らが身を律していく必要がある。

後藤

女性、若者、また経験豊かな年配の人が、新たな知恵を町政に反映させていく環境を整える必要がある。

一般質問

町政

石山直継議員

商工観光課と観光協会のあり方は

町長 4月をめどに新課長を任命したい



石山

①10月1日以降、長瀬副町長が商工観光課長を兼務することになった経緯は。副町長は町長を補佐し、職員の事務を監督する特別職で、町長が欠けたときにはその職務を代行する立場。本来の職務を全うできるとは考えられない。今後副町長が兼務したままか。商工観光課長を新たに任命するのか。

②現在、地方創生事業の推進に向け、様々な施策

が遂行されようとしているが、商工観光課からの提案などはあるのか。
③観光協会の独立について、どのような議論がなされたのか。
④商工観光課の職員の業務は飽和状態。業務体系の見直しに着手する考えは。

町長

①前課長が9月30日付で急な退職をしたことにより、緊急で対応しなければならず、当面の対応策として、副町長による「事務取扱」として対応しました。
②総務課企画部門が各課のとりまとめをしています。

③観光協会の独立については、主体的に観光振興を担う組織を目指し、同役員会において、平成29年度から新たな事務局体制で運営を始めることを念頭に、事務局長、事務員の2人体制とし、事務所を庁舎外に置くことも含め、検討が進められています。

また業務内容については、当初1年間は商工観光課からの引継ぎを受けながらイベントの実施や観光・物産展などの出展を行いつつ、30年度以降のイベント等の事業見直しや組織強化を図っていくことも検討されています。

④改善に努めていきたい。

石山

①なぜ商工観光課に課長補佐職を置かないのか。課長補佐職と主幹の違いは。

②当面とのことだが、いつの時点で人事異動による体制づくりを進めるのか。空席が長引けば住民サービスの低下につながる。早期に改善を図るべきでは。
③観光協会の独立について、これまで何回の話し合いがされたのか。
④観光協会の独立に際して財政支援は。

町長

②4月をめどに新課長を任命したい。

長瀬副町長

①課長補佐職と主幹は、給与体系上、また任務的にも変わりはありません。

③平成27年度には、三役会が3回、役員会が7回、28年度は三役会が4

回、役員会が6回開かれています。28年度については独立についての議題が多く含まれています。
④町からの補助金等を主な財源として活動していく形になると考えられています。

石山

以前、商工会に観光協会の事務局機能を置く

ことを打診したが断られたと聞く。その経緯は。

長瀬副町長

道の駅の一部を借りることが難しいという話がありました。現在は主として道の駅に移す方向で進んでいます。



▲道の駅てしお

横山 敦議員

待機児童の解消を

町長 産まれた後のフォローをしていきたい



横山

- ① 認定こども園における待機児童は。
- ② 認定こども園の定員及び保育士数は。
- ③ 乳幼児の一時預かり支援事業の有無は。

町長

① 待機児童はありませんが、入園相談は6人です。うち5人は、来年月までお待ちいただく状況です。
② 定員は90名で、現在の在籍数は95名と定員を超えています。今年度と来年度の推移を見て、

定員変更の判断をした
い。

保育士数は、11人の体制で運営しています。

③ 認定こども園では、一時預かり事業を実施可能ですが、現在職員数の関係から、3〜5歳まで午後からの預かり対応のみです。そのほか、健やか親子21てしお応援団によるサービスを実施していますが、団員が高齢化し、減少しており団員の確保が課題です。

横山

待機児童はないとのことだが、入園相談の5名、まさしくこれが待機児童ではないか。認定こども園で、親の就労の有無にかかわらず、全ての子どもを対象としたサー

ビスの提供が実現すると大変期待をしていたが、この状況。待機児童に対する考え方、基準は。

また認定こども園のニーズの高さが一目瞭然で定員増の必要があると考えるが定員を増やせない理由は。

現在、天塩町では乳幼児の一時預かりサービスがほぼ受けられない状態。これらの課題を解消するための具体策は。

福祉課長

保育士数が不足しており、3名を募集したところ、2名決定し、あと1名を採用していく段階です。一時預かり事業は来年度専任の職員を置き、認定こども園にお

いて対応を手厚くしていきたい。

定員は2年間の推移をみて考えますが、建物的には定員120名で運営していた時期もあるので、3名の保育士を増やした上で検討していきたい。

町長

この5、6名は待機児童だと考えます。将来の子供たちのために、この待機児童がなくなるよ

う内部検討をしっかりと進め、待機児童ゼロに向かって努力をしていきたい。

横山

少子化に歯止めをかけるため子育て支援策を講じ、その結果によって、認定こども園への入園希望者が増えるという大変喜ばしい状況において、スピード感を持って受け皿を確保できないということは子



▲認定こども園おひさま

町長

子育ての環境づくりをできるだけ早く、近隣町村に負けないような意気込みを持ってあたる方向で進めてきましたが、全体としてスタートが少し遅れてしまったと反省をしています。産まれた後のフォローに相当の力点を置き、今後のしっかりした方向性を見出していきたい。

谷村敏彦 議員

天塩港に監視カメラの設置を

町長 関係機関と協議したい



谷村

防犯カメラ等の設置について、平成27年9月定例会で石山議員から質問があった。また、先般、天塩港で転落事故が発生し、危険性を感じている。防災・防犯・事故等を考慮し、港に監視カメラを設置することが必須と考える。

①平成27年9月定例会後の防犯カメラ設置の取組み状況は。

②天塩港における防災・防犯・事故防止対策は。

③天塩港の施設管理体制の区分は。

町長

①平成27年11月18日に天塩町有施設に設置する防犯カメラなどの運用基準を定め、同年12月1日から施行しています。

現在設置されている

施設は、恵愛荘、デイサービスセンター、ケアハウスかがやき、夕映、道の駅です。今後必要度の調査を行い、順次設置していくよう努めていきます。

②防災については天塩町地域防災計画を定めており、天塩港の防災に関する関係機関との連携、協力体制についても、この計画が基本となります。台風及び異常な低気圧等の情報に対しては、稚内海上保安部か

ら留萌開発建設部、天塩町、北るもい漁業協同組合、また、港湾施設利用組合などの関係機関に対し、一斉に注意喚起や勧告が発令される体制となっております。

防犯・事故防止について、町では港湾管理人1名を雇用し、船舶の入出港確認や、港湾施設の巡回、不審者、不審物の早期発見などに取り組んでいます。さらに、防波堤などの危険な場所に関係者以外が立ち入りをしてはいけないよう、意識喚起の看板を設置しています。

③天塩港は、港湾法の「地方港湾」であり、港湾施設の財産区分は、国の所有に係る公共用の行政財産となります。天塩町は、港湾管理者として国直轄工事で整備した国有港湾施設の管理委託契約を締結し、国有港湾施設の維持管理、使用又は占用の許可、入出港届の受理などを行っています。

今回、天塩港での事故を教訓として、港の利用者に対し、担当職員又は港湾管理人からの声かけ、注意喚起など、できるところから取り組んでいくと共に、カメラの設置は、他の港湾の整備状況などを調べ、検討していきたい。



▲更なる安全対策が望まれる天塩港

建設課長

③街灯の電球切れ等については、職員が日没後に現地で確認し、その都度交換しています。

長瀬副町長

①各施設の課長が担うと理解しています。

町長

②日本水難救済会北海道支部天塩救難所が毎年訓練を行っています。

谷村

更なる安全を考える上でも、天塩港に事故防止対策のカメラを設置するべき。今後できるのか、最後に答弁を。

町長

是非設置していくようにしたい。関係機関とも協議しながら、最も適当な状況を考えていきたい。

谷村

①各施設の防犯カメラの運用責任者は。

②今日まで港湾等の独自の防災訓練を行ったことはあるのか。

③港湾管理人から港湾の不備などの報告を受けているか。

佐々木裕之議員

JRの存廃と通院の足の確保は

町長 現状維持に最善を尽くす



佐々木

①名寄・稚内の病院への足がない。バスの大幅改善でなく、トータル交通確保により町民の命と健康を守る必要がないか。

②高齢者の運転免許返納は規則縛りや家族任せではなく、次善の方策を提案し、危険の少ない運転を勧めた後、返納に至る対策をすべきでは。

町長

①3月のJRダイヤ改正に合わせて、バス通学生や通院の足の確保を、現

状から衰退しないよう協議します。

②管内では、無料バス券やタクシー助成などの例があります。安心して返納できる制度を住民の声を聞き、関係機関と協議し制度設計を行いたい。

佐々木

公共交通の確保を道や国会議員を含め協議を続けてほしい。医療の足では、遠別、天塩、幌延、豊富の町立病院・診療所などが共同運行で稚内や名寄へバスを出すなど工夫を。地方創生で中頓別のシェアリングエコノミーなどの事業をハイヤー会社、貸切バス会社なども含めて、トータル

交通体系が必要だ。

町長

宗谷線北部の対策協議会で名寄市長と共に道庁、国土交通省に地域の事情を伝えてきました。幌延駅から医療機関に行く人や高校生も影響を受けます。全力を尽くし近隣と連携して対策を進めたい。

齊藤副町長

シェアリングエコノミーについて、商圏・医療圏へのアクセスなど、新たな交通体系を模索する趣旨で予算化しましたが、スピード感を持ち模索・調整していきたい。

佐々木裕之議員

男女共同参画の現状と課題は

町長 女性の登用を積極化したい

女性の比率 (主なもの・答弁より)

	全道	管内	天塩町
市町村議会議員	10.8%	10.0%	0%
市町村職員管理職	11.2%	12.4%	8.3%

佐々木

①国の法制化以降の対応と全道及び留萌管内の取組み状況は。
②計画を樹立する予定は。

町長

①平成28年3月の調査結果では、市町村議会議員の女性の比率は全道10・8%、管内10・0%、本町0%などとなっています。
②地域特性や家庭・職場などの環境を考慮し、町内各団体とも協議を重ね、計画の樹立・条例制定を目指します。

佐々木

町長の答弁では現状維持だが、現状よりもっと便利にする考えはないか。
現状維持に向けて最善を尽くしたい。副町長答弁も、別な角度で整合性の問題がありますが、相乗りは非常に助かります。研究し便利な方向に努力したい。

町長

史的にゼロだが是非とも女性議員が誕生することを期待する。

町長

これまでも女性を登用してきましたが、積極化したい。

佐々木

女性の施策に関する推進状況調査実施状況では本町は何もしていない。事業実施状況等は。

住民課長

アンケート上で解釈の違いがあったようです。実際には天塩町女性連絡協議会等、女性がトップまたはサブという団体があります。精査して回答したい。

佐々木

女性の町内会長がゼ口。町が音頭をとっても育てるべき。町議会も歴

火葬場について住民への説明を

町長 納得が得られるよう取り組み



遠藤

①建設候補地を現施設区域内としなかった理由は。遠別町との協議の経過は。

②住民、寺院関係者、葬祭関係者等の合意形成のための手続きの考えは。
③火葬場建設の工程は。
④火葬場の建設主体は。共同か広域か。
⑤財源措置、施設整備積立の状況は。

歳入減により、共同または広域での設置の有利性も併せて検討しました。遠別町でも火葬場の老朽化が問題視されつつあり共同設置も視野に入れます。

④建設費用、ランニングコストの軽減が図られることから遠別町との共同設置を基本と考え、⑤建設費用を5億円程度と見込み、本町負担分は概ね半分とし、財源は町単費、起債（過疎債）、道補助金を想定しています。

②まずは住民への説明を丁寧に行い並行して寺院・葬祭関係者へも説明を行いたい。

③今年度中に住民の概ねの合意を得て、30年度中には供用開始できる形に向けて取り組んでいきたい。

町長

①当初、町内の適地を検討しましたが、人口減・

29年度予算の基本姿勢は

町長 人材の育成に焦点を当てる

遠藤

①平成29年度予算は、長期的視点に立った次世代への遺産予算となることを考えているのか。
②事業の評価見直しはどのように行われ、予算編成に生かされているか。
③総合振興計画の見直し策定は、どの段階か。

町長
①生活環境、産業振興、教育環境に係る事項を重点的に進めるよう指示しており、人口減少が進む中、次世代につながる人材の育成に焦点を当てた取り組みをしていきたい。
②町民ニーズの変化に対応した長期的に見て真に必要な事業である

か取捨選択を行い予算編成を進めるよう、指示しています。
③町政執行方針で新たな計画を策定していきたいと述べましたが、4月の係再編や地方創生関連事業の展開等により、当初の進行が困難な状況です。文言の整理と基本計画のローリングに留め、次年度から改めて新計画の策定作業に取り掛かることが望ましいと判断し、方針を修正したい。

町長

今年度実施したHL ABのように英語に触れ合う機会を継続的に提供していきたい。

遠藤

国際人として、天塩の人が世の中に羽ばたいていけば天塩の価値が上がる。最後に町長の決意を伺う。

町長

人づくりの事業は将来の指針となると思っています。29年度以降も継続できるよう努力をしていきたい。

遠藤

人を育てる環境づくりは容易ではなく、百年の体系をもって進めなければならぬ。未来を担うグローバル人材の育成について、具体的に

渡辺修勝 議員

農地防災事業後の草地更新支援を

町長 関係機関と相談する



渡辺

産土地区国営総合農地防災事業について伺う。

①受益者数と受益面積は。

②事業の期間は。

③他産業への経済波及効果額は。

④農地防災事業後の費用に係る受益農家の負担が農業経営の現状から見て、負担能力の限度を超えていないのか。

町長

本事業の主な内容は、排水路整備、暗渠排水整

備、埋木処理等の農地基盤の整備で、客土や草地更新における播種、肥料の散布などは事業の対象外となっています。

①受益者数は47人、受益面積は2289ヘクタールです。総事業費は130億円で、負担割合は国75%、道25%であり、受益農家の負担はありません。

②平成27年度～34年度の8年間の予定です。

③北海道開発局の試算の数値では、受益面積1ヘクタールあたり年間63万2千円です。

④事前に受益農家に説明会を開き、十分に理解いただいたうえで受益地を決めて事業を開始しています。

渡辺

農地防災事業の内容は、排水路整備、暗渠排水整備、埋木処理等の農地基盤の整備であり、草地更新における播種や肥料の散布は対象外という説明だったと聞いている。

北海道農業公社道北支所からもらった見積によると、草地更新をする場合には、機械代金、牧草種子、土壌改良剤、肥料を合わせて、1ヘクタールあたり概算で23万3千円かかる。単純計算で受益農家1戸あたりの面積は約48.7ヘクタールであり、1ヘクタールあたりの草地更新料を乗じると約1134万7千円となる。

草地更新の方法は様々だと思うが、資金を借り入れする農家には長期で低利な資金を調達できないか、また受益農家全体で借入金に対する利子補給等の支援対策や資材等への支援を、農地防災事業産土地区営農検討会（受益農

家、天塩町、農協、農業改良普及センター等で構成）において協議する考えはないのか。

町長

これまで北川口、南川口、振老（富士見地区）で同様の事業が行われましたが、支援というも

のはありませんでした。農業者、農協等と相談し次の農地防災事業促進期成会の総会にテーマとして上げるなど、慎重な取り運びをしなければならないと思います。

渡辺

先に行われた富士見地区農地防災事業は、受益面積910ヘクタール、受益農家は43戸であり、規模が全く違う。

暗渠排水工事の工期が2月までとされているようだが、冬期間の工事は受益者にも業者にも負担がかかる。改善策をどう捉えるか。

町長

町は発注者ではありませんが、次の年に向けて、工期の改善が可能なか、農業開発事業所と協議したい。



▲農地防災事業の受益地

政 告 行 報

家畜診療所及びHLA B・セカクルについて 行政報告

12月定例会において天塩町が建設費の一部を補助した留萌地区農業共済組合留萌北部家畜診療所（雄信内）と地方創生事業のHLA B（8月開催）、セカクル（12月開催）について、町長から行政報告が行われました。



▲浅田町長

●留萌地区農業共済組合留萌北部家畜診療所について

で、獣医療の安定的な営農支援ができる体制が期待されています。

●HLA B（エイチラボ）、セカクルについて

て開催されました。海外から米ハーバード大学、英オックスフォード大学、国内から東京大学など国内外の大学生23人が集結し、道内各地から参加した高校生34人、ボランティアを含む天塩高校生21人と地方創生をテーマに

新しい留萌地区農業共済組合留萌北部家畜診療所については、遠別、幌延、雄信内・問寒別、天塩診療所を統合することにより、診療体制の見直し、獣医師の育成と合理化を目的に、診療範囲の遠別・幌延・天塩3地域の中心となる雄信内市街地に建設することとなり、6月3日に着工され12月20日には竣工する運びとなりました。

当初の職員体制は、獣医師17名、業務職員6名の計23名となります。今後、当地域の家畜診療の中核となり、職員の定着が雄信内地区の活性化にもつながると期待されています。

（一社）HLA Bが全国各地で実施しているサマースクールが、北海道初の開催場所として、天塩町において、8月25～26日の2日間にかけて

開催されました。海外から米ハーバード大学、英オックスフォード大学、国内から東京大学など国内外の大学生23人が集結し、道内各地から参加した高校生34人、ボランティアを含む天塩高校生21人と地方創生をテーマに

活発な議論が行われる場となりました。

また、12月3～4日の2日間にかけて、早稲田大学国際教養学部（8月開催）の学生が、中高生と交流する中で国際的な視野、英語学習に対するモチベーションを高めることを目的に結成された「セカクル」が来町し、天塩高校と天塩中学校を会場にワークショップが開催されました。

3日は天塩高校生27人が、4日は天塩中及び遠別中などから46人が参加し、英語に接し、話すことの面白さや英語の中にある多様性を実践的に学ぶことができました。

この2つの事業については、齊藤副町長が橋渡しとなり実現しましたが、これらのつながりを大切にし、今後このような場を継続できるように取り組んでいきたいと考えています。

第4回 臨時会

10月6日
プロポーザル審査委員会
設置条例案などを可決

10月6日に招集された第4回臨時会では、地方創生事業の「天塩国（てしおのくに）眠れる食資源活用プロジェクト」を推進する上で専門的かつ効率的にプロポーザル制度（企画提案や技術提案を求め、提案内容及び業務遂行能力が最も優れた者を選定する方式）を採用した場合の審査委員会を設置する条例案のほか、財産の取得（議場音響設備一式の購入）について、審議が行われ、原案のとおり可決されました。

統合により地域の酪農家、畜産農家の効果的・効率的な家畜診療体制が構築されること



▲完成した家畜診療所



▲天塩中で行われたセカクル（12月4日）

表紙の写真

認定こども園おひさまの
カルタ大会（1月13日）



1月13日、認定こども園おひさままで、新春恒例のカルタ大会が行われました。

絵札を探しているときの子どもたちの表情は、まさに真剣そのもの。見つけると、勢いよく絵札に手を伸ばして

次々に札を取っていき、園内には子どもたちの「見て！こんなにいっぱい取ったよ！」「次は負けないぞー」といった元気いっぱい歓声が響きわたっていました。

今回は子育て中のお母さんたちにお話を伺いました!



▲子育て支援センター・あいあいクラブ

町民の声を、いつ、どのように伝えたらよいかかわりません。広報紙などは、まず見出しを見て、自分の興味があるものを読むようにしています。

（取材 後藤・佐々木）
皆さん、ありがとうございます。

議会や議会だよりの印象は？

またアドレス登録により連絡があると便利になると思います。

子育て・町政について
どう思いますか？

子どもの通院が不便です。旭川や札幌に行く場合、小さい子どもと一緒にバスには乗れず、稚内に行くのも大変です。

あいあいクラブは他の保護者や子どもたちとお話や遊ぶことができます。すぐ良い場所です。旭川や札幌に行く場合、小さい子どもと一緒にバスには乗れず、稚内に行くのも大変です。

子育て支援を一覧にまとめた冊子があると良いですね。回覧は回るのが遅く、届く頃には情報が古くなっていることがあるので、携帯電話などで情報が見やすく、またアドレス登録により連絡があると便利になると思います。



まちのびえ

No. 2

あいあいクラブ（火・水・木開催）では認定こども園に親子が自由に集まって遊んだり育児の相談ができるんだ。



編集・発行
議会広報特別委員会

- ◎委員長 後藤 忍
- 副委員長 横山 敦
- ☆委員 佐々木 裕之
谷村 敏彦

議
会
を
傍
聴
し
ま
せ
ん
か
?

次の定例会は
3月の予定です。
（一般質問は初日に行う予定です）

この議会だよりは、わかりやすく、読みやすいUD FONT by MORISAWA を使用しています。